

平成27年度一番茶実収報告

高知県農業技術センター茶業試験場

1. 摘採日

本 年	前 年	平 年
4月 25日	5月 1日	5月 2日

1) 平年値はH22～H26年の平均値。以下同じ。

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		平 年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
297±29	75	330±46	83	398±97	100

1) 可搬型摘採機による5カ所の平均値。

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		平 年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
28.2±2.0	70	36.1±2.4	90	40.2±4.7	100

1) うね長0.2mの帯摘み5カ所の平均値。以下同じ。

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		平 年	
本 数	指数	本 数	指数	本 数	指数
1047±77	112	984±144	105	934±196	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	平 年
78.2±2.6	68.4±6.7	45.0±8.8

6. 概況

(1) 気象

気 温：4月を通して平年よりも概ね2℃程度高かった。

降水量：4月の降水量は200.5mmで平年の88%であったが、降水日数は19日と平年（13日）よりも多かった。

(2) 茶芽の生育

萌芽期ころに軽い霜害が見られたが、4月の気温は平年よりも高く、生育が進み、霜害の影響は実質的にはなくなったと考えられる。出開きの進行も早かった。

摘採日は4月25日で前年(5月1日)よりも6日早く、平年（5月2日）よりも7日早かった。新芽数は平年よりも多かったが、百芽重は平年よりも小さく、収穫量は平年の75%であった。生長の早い大きな新芽と遅い小さな新芽の生育差が大きかった。

場内の一部ではカンザワハダニ、チャノナガサビダニの発生が見られ、被害も見られた。もち病の発生が見られ、降水日数が多かったことが影響したと考えられた。